

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第1号を送付します。

令和 4 年度病虫害発生予察注意報第1号

令和 4 年 6 月 9 日
高知県病虫害防除所長

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)

1 対象作物 果樹全般(モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ類)

2 発生地域 県西部

3 発生時期 5月上旬以降

4 発生程度 多

5 注意報発令の根拠

- (1) 県内4地点で実施している果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査における誘殺数は、県東部で平年よりやや多く、中央部で少、中西部でやや少なかったが、西部では5月計 919 頭(平年 131.4 頭、前年 222 頭)、6 月第 1 半旬 1,168 頭(平年 18.0 頭、前年 19 頭)と、過去 10 年で最も多くなっている(表 1、2)。
- (2) 令和4年6月2日発表の四国地方1ヶ月予報では、6月の気温は平年より低いと予想されているものの、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みであり、今後果樹園への飛来および加害が増加するおそれがある。

6 防除対策

- (1) 花、幼果を吸汁されると落果するので発生を確認したら早めに防除する。果樹カメムシ類の飛来時期、飛来量は地域や園地による差が大きいので、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施する。
- (2) 園地への飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向がある。現在誘殺数が多い西部以外の地域でも、今後、気温の上昇に伴い活動が活発となり、チャバネアオカメムシなどが果樹園(モモ・スモモ・ナシ・カキ・カンキツ等)に多く飛来する可能性があるため、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努める。

(3) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>) に掲載しているので、果樹園での発生の参考にす。防除等は県防除指針(高知県農薬情報システム(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>))内に掲載)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

7 他県の状況

6月6日現在、香川県、茨城県、奈良県、愛媛県で注意報が発令されている。

表1 果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(5月第1半旬～6月第1半旬)

月	5月							6月	
	半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	計	1半旬
東部	本年	12	10	1	10	11	12	56	17
	平年	1.5	2.0	6.8	12.5	11.8	10.0	44.6	9.3
中央部	本年	2	3	6	6	10	20	47	21
	平年	11.6	35.1	29.3	35.3	4.0	3.0	118.3	30.9
中西部	本年	54	13	16	13	29	59	184	32
	平年	68.0	48.8	38.5	44.3	42.7	27.9	270.2	34.8
西部	本年	43	61	123	32	125	535	919	1,168
	平年	16.2	16.4	17.1	30.2	19.3	32.2	131.4	18.0

東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町宮ノ口、中西部:須崎市浦ノ内、西部:四万十市竹島

誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計

平年値は平成24年～令和3年の10ヵ年平均

表2 県西部における過去10年間の果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(5～6月)

半旬	5月							6月
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	計	1半旬
H24	73	95	56	62	44	35	365	35
H25	9	18	15	10	1	2	55	2
H26	26	6	5	44	7	8	96	43
H27	24	4	3	93	41	240	405	50
H28	0	1	1	0	0	0	2	0
H29	0	0	0	1	0	0	1	0
H30	8	14	22	23	15	10	92	8
R元	6	2	0	3	34	22	67	22
R2	1	3	2	1	1	1	9	1
R3	15	21	67	65	50	4	222	19
R4	43	61	123	32	125	535	919	1,168

お問い合わせは、病害虫防除所(TEL:088-863-1132)または環境農業推進課(TEL:088-821-4861)まで